

グループ討議 課題

テーマ: オープンアクセスに対する教員理解を
深めるために

グループ名 [4A]

2018年度機関リポジトリ新任担当者研修

JPCOAR オープンアクセスリポジトリ推進協会



オープンアクセスに対する理解を深めるために

問題点

オープンアクセス(OA)に対する
教職員の理解が低い

解決策(案)

大学全体でOAに取り組む

具体案

学内周知・啓発活動の実施

- ・SD・FD研修会の実施
- ・OA関係配付物等の作成
- ・OA推進活動の実施 など

学外の主要組織へ
OA推進体制の強化を働きかける

各種分野の学会 など

研究費助成への
OA義務化 など

想定される効果

- ・OAの理解度向上
- ・公開論文数増加
- ・論文引用数増加
- ・教員の評価向上
- ・大学の評価向上
- ・戦略的広報活動の展開
- ・横断的組織形成による相乗効果

・・・など

オープンアクセス(OA)に対する理解が低い

教員・職員問わず、OAに対する理解が低い

なぜ自分の研究を機関リポジトリで無償公表しなければならないのか。

誰がデータ登録するの？
これ以上、使うシステムを増やしたくないわ！

公開するのはいいけど、出版者とのやりとりがめんどくさいなあ。

問題点

著作権とかよくわからない。
手続きがめんどくさそうだからやりたくない。

解決策(案): 大学全体でOAに取り組む

組織における取り組みに関する具体例

事務職員

- ポスターを作成し啓発
- リポジトリに関する説明会実施
- 図書館、研究支援部門や情報センター等との協働

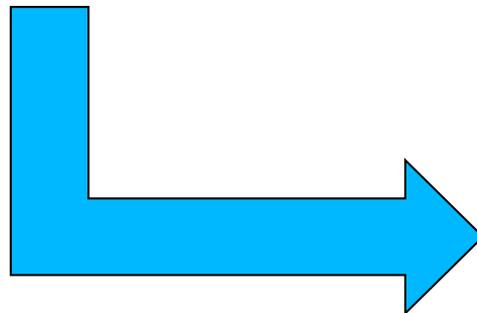
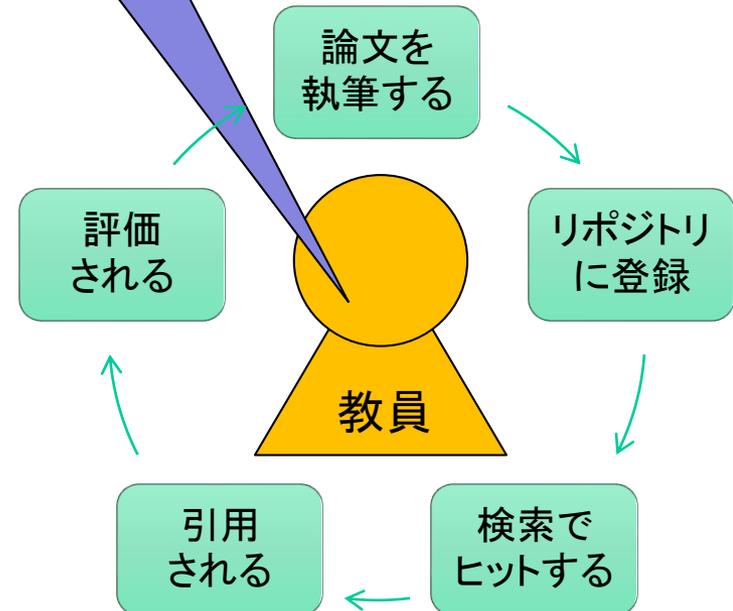
学部学科(教員)

- 各会議などでリポジトリ登録を推奨
- 教員ごとの登録数を発表
- 研究活動の活性化

大学全体

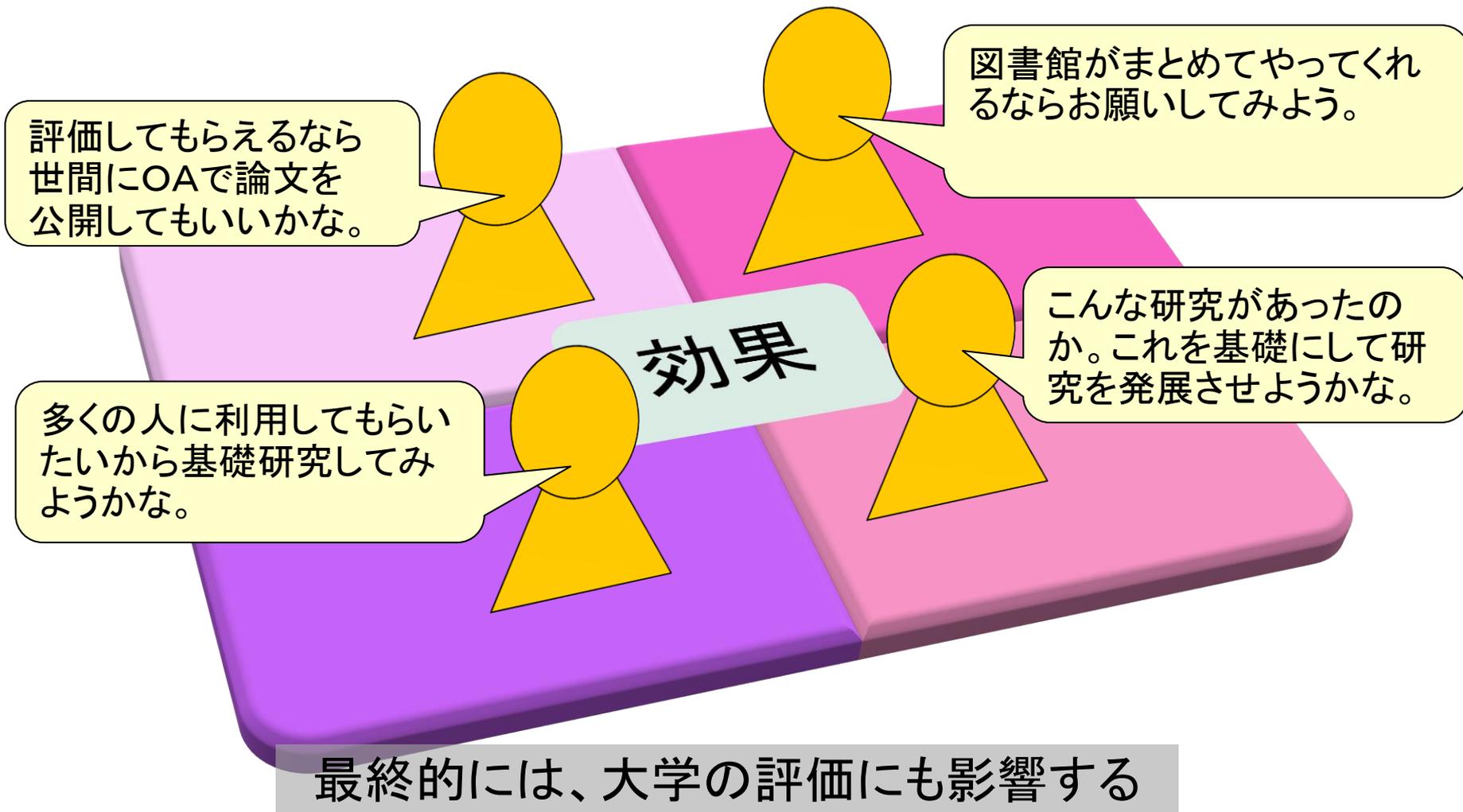
- リポジトリ登録に関する評価制度
- 引用数などに関する評価制度
- 研究支援体制の強化

モチベーションアップにつながるかも？



大学全体でOAに取り組むことで想定される効果

学内での理解・認知度が高まれば、OA化に対して協力的になってもらえるのでは？



結論

